

国語  
領域

国語学、国文学及び教育学の諸研究を基礎に据えた国語科教育学の理論の確立並びに実践の深化を志向する専門的研究を行い、国語教育を総合的に探求します。

学校教育における国語科の任務である日常の言語習得の問題とともに、過去から現在に至る民族の言語文化の諸相を学び、それを国語教育に生かす方法と実践の課題を追求します。

## 修士論文

- 「伝統的な言語文化」に親しむための和歌学習 -『万葉集』の物語性を活かした学習の提案-
- 日本における『書譜』の受容
- 古典和歌への入り口 -歌ことばの教材的可能性-

## 専任教員の研究・教育の概要

## 濱田 秀行

【国語科教育】

国語科の授業実践について研究しています。特に話し合い活動を通して子どもたちが読みを深めていく過程に関心をもっています。研究協力者をお願いして継続的に授業を観察させてもらい、教室談話を分析するスタイルで研究を進めています。授業では、小中学校国語科の実際の授業事例についての議論を通して、国語科における主体的・協働的な授業のあり方について学びます。

## 河内 昭浩

【国語科教育】

現在は、国語科教育学の中の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」並びに「書くこと」領域を中心に研究をしています。また別に、宮沢賢治をはじめ児童文学と国語教育との関連にも強い関心を持っています。授業では、研究の基盤となる国語科学習指導の変遷や諸家の理論について学びます。また別に、特に漢字・語彙指導について議論を深め、授業実践も行い、国語科教員としての専門性の向上に努めています。

## 小林 英樹

【国語学】

日本語母語話者は、日本語を使いこなせる日本語の「プロ」です。しかし、その日本語の「プロ」でも、何げなく使っている日本語のしくみを説明することは難しいです（これは、常に吸って吐いてをしている呼吸の「プロ」である私達が呼吸のしくみを上手く説明できないのと同じです）。研究は、漢語サ変動詞を手がかりにして、日本語のしくみを分析しています。授業は、日本語の「プロ」である学生のみなさんと、日本語のしくみを言語学的に考えていくようにしています。

## 小林 正行

【国語学】

日本語の歴史の変遷について研究しています。文法史を専門として、口語資料を主な対象に、歴史の変遷を分析しています。授業では、口語が反映されたことばが用いられる伝統芸能や、単語の意味の歴史的な変化、文法の歴史的な変化に触れ、いま私たちが用いる日本語が、どのような変遷を経て今の姿になったのか、について理解を深めていきます。「言語は変化するもの」という観点から、「正しい日本語」という考え方に揺さぶりをかけます。

## 藤本 宗利

【国文学】

枕草子を中心とする平安文学の研究をしています。枕草子の特異性を、和歌や漢詩文との関わりから表現的に探り、その宮廷文学としての本質を源氏物語や紫式部日記との比較において考察しています。授業では、「古典好き」を育てる古典教育のあり方を追求します。

## 永由 徳夫

【書写・書道】

日本および中国の書論・書道史を研究対象としています。日本の書は、古来中国書法をどのように受容し、理論づけたのか、日中相互の書芸術観を探究することは、書道史の再構築につながります。授業では、古典籍の精読を通して思想や歴史を学び、文字文化伝承の重要性を理解するよう、心掛けています。教育現場はもとより、所与の場で、手書き文字の持つぬくもりを伝えていける人材を育成していきたいと考えています。

社会  
領域

社会科教育の理論を深め、現場での実践にその成果を反映させるため、社会科教育、歴史、地理及び公民の4分野のいずれかを重点的に研究します。また、他分野との有機的な関連の理解と、地域社会の動向に対応することのできる実践的な能力を養成します。

## 修士論文

- 社会科教育における「生きる力」の一考察 -「キー・コンピテンシー」を手がかりに-
- 群馬県における農業の特性と担い手層の実態
- 性別による「らしさ」から“自分らしさ”へ -小学校社会科男女平等教育の授業開発とその実践-

## 専任教員の研究・教育の概要

## 藤森健太郎

【歴史】  
日本史

日本古代の儀礼について研究しています。特に、天皇の即位に関する儀礼を中心に調べており、2000年には『古代天皇の即位儀礼』（吉川弘文館）を上梓しました。最近では、古代から中世にかけて、儀礼を含む社会秩序システムがいかに変化したのかに興味を持っています。大学院では、こうした専門をも踏まえつつ、日本史学の基本的な考えかたや研究方法、専門知識の教育現場での活用を考えます。

## 今井 就稔

【歴史】  
東洋史

日中戦争史や中華民国期の経済、日中関係を中心に、中国の近現代史の研究をしています。また、中国の資本家たちの社会的な活動や戦前における日本企業の対中進出についても興味をもっています。好き・嫌いを超えて、中国社会や日中関係、そして東アジア世界を、さまざまな角度からいっしょに考えていきましょう。



松沼 美穂	19世紀末から20世紀初めにかけてのフランスとその植民地との関係を、主に国際関係史の視点から研究しています。最近では第一次世界大戦期にたくに興味をもち、またこの戦争についてフランス語圏カナダの歴史にも関心を広げています。授業では西ヨーロッパ現代史を主として扱い、一次史料を読むことに努めます。あわせて、歴史教育やコメモレーションなどを通して、現代社会における歴史学の役割についても検討します。
【歴史】 西洋史	
関戸 明子	農山村をフィールドとして、伝統的な環境利用、歴史的景観の分析、地域資源の保全・活用、ツーリズムと地域変容などに関心をもち、調査・研究を行っています。授業では、地域分析のための資料の集め方と図表作成の手法を修得するとともに、フィールドワークをとおして、地域の課題や魅力を捉える力を身につけていきます。地理的な見方・考え方、地理的技能を育て、フィールドに出かける楽しさを共有したいと思います。
【地理】 人文地理学	
青山 雅史	専門分野は自然地理学で、主に山岳地域の地形や環境変遷に関する研究を行っています。東日本大震災発生以降は、地盤の液化化による被害に関する研究にも取り組んでいます。現地踏査から地理情報システム(GIS)を用いた解析作業まで、さまざまな手法を用いて研究を進めています。授業では、社会科地理分野のなかの自然地理学的テーマを検討対象として、さまざまな地域の生い立ちを自然地理学的観点から検討したいと思います。
【地理】 自然地理学	
斎藤 周	数ある法領域の中でも労働法が中心的な研究分野です。国際人権法を踏まえながら、ジェンダーに敏感な視点から男女雇用平等の研究を進めています。現在の主な研究テーマは、ワーク・ライフ・バランスの実現を支える法のあり方です。授業では、小中学校社会科の政治分野の学習の中核となる憲法を、主要な検討対象とします。あわせて、ジェンダーと法、法教育ないし主権者教育についても検討します。
【公民】 法律学	
豊泉 周治	若者をめぐる諸問題の分析、諸課題の解決に寄与することをめざして、現代日本社会の社会学的研究を行っています。近著として『若者のための社会学』(はるか書房、2010)、『(私)をひらく社会学—若者のための社会学入門』(共著、大月書店、2014)。関連して、デンマーク社会についても研究しています。授業では、複雑な現代社会の諸課題のなかで成長する若者への視点を見失わない社会科のあり方について、考えたいと思います。
【公民】 社会学	
小谷 英生	18世紀ドイツの哲学・社会思想史と現代の正義論、徳倫理学やフェミニズムを通じて市民と公共性について研究しています。「公共性」「公平」「平等」などをキーワードとしつつ、大学院ではジュディス・バトラーやナンシー・フレイザー、ドゥルシラ・コーネルといった現代アメリカのフェミニストの議論を丹念に追いつつ、参加者でディスカッションを行うという形式の授業を行っています。
【公民】 倫理学	
中尾 敏朗	主な研究領域は、小中学校の歴史学習です。特に、日本の歴史をアジアの動きの中に位置付けて子ども自身に考察させる学習指導の在り方を、彼我の歴史教科書分析を踏まえ、また解釈や対話を重視する欧米流の歴史学習の手法に着目しながら研究を進めています。授業では、歴史を含む社会的事象を児童生徒がより深く理解するための学習指導の姿を、問いの設定やそれに基づく考察・対話の在り方に着目して検討していきます。
【社会科教育】 社会科教育学	
宮崎 沙織	小中高の社会科教育及び地理教育のカリキュラム研究を行っています。中でも環境や持続可能性にかかわる問題について興味関心を持ち、アメリカ・カナダなど海外の社会科教育の動向を参考に、これからの社会科教育のあり方について考えています。授業では、「グローバル」な視点を大切に現代社会の諸課題に対して社会科教育はどう対応できるのかを、これまでの社会科教育における議論を参考に検討します。
【社会科教育】 社会科教育学	

## 英語領域

ますます緊密化する国際社会で英語教育の果たすべき任務は極めて重くなっています。本専修では、英語科教育及び英語学・英米文学に係る専門知識を一層深め、英語教育における理論と実践において指導的な役割が発揮できる人材の育成を図ります。

### 修士論文

- A Study on Processing Load of Different Types of Verbs in Reading
- The Effect of Comprehensible Input in the Team-Taught EFL Classroom
- The Effect of Output Practice on the Enhancement of Productive Vocabulary Acquisition

### 専任教員の研究・教育の概要

上原 景子	言語の理解・生産・習得の理論を柱に、英語教育全般(小中高の授業実践と評価、言語活動、TT、教材開発)、英語教育改革に向けた小中高の円滑な接続、聴覚障害学生の英語学習支援方法の開発について研究しています。また、第二言語習得理論に基づき、心理言語学的観点での実験調査を核とした研究もしています。授業は全て英語で行い、言語の理解・生産・習得のメカニズムに関わる世界の先行研究を学び、実践への応用を考えます。
【英語科教育】	
レモンド・フゲブーム	My research focuses on the development of L2 English fluency in listening, speaking, reading, and writing. This involves creation and promotion of curriculum and activities that increase learners' comfort and automaticity within the entire range of learner proficiency levels. In courses, students present and lead discussions on assigned texts on L2 teaching methodology, including on creation of programs, teaching of 4 skills plus grammar, testing, classroom management, and motivation.
【英語科教育】	
渡部 孝子	英語教育について、フィンランド、韓国、英国の外国語教育との比較教育的なアプローチを用いながら、グローバル人材育成を踏まえた英語科カリキュラムの研究を行っています。現在の主な研究テーマは、グローバル人材の育成のための言語教育のあり方です。授業では、政策としてのグローバル人材育成と英語教育の視点から小学校英語教育、ジェンダー、多文化共生などのテーマを主として検討します。
【英語科教育】	



## 金田 仁秀

【イギリス文学】

主に19世紀後半から現代のイギリスにおけるレズビアン・ゲイ・バイセクシュアルに纏わる性の言説を研究しています。授業では、特に19世紀後半のイギリスにおける、これらと関係する文学作品、論考、エッセイ、回想など、多様な文献を取り上げ、ジェンダーとセクシュアリティについて多角的な視点から読み解く能力を養い、現代における性の問題を分析、考察する礎を築きます。

## 田中 一嘉

【言語文化・  
ドイツ語学】

ドイツ語の法助動詞等の語用論的な振舞いと、日本におけるドイツ語の初級教育の在り方を研究しています。授業では、ドイツ語学を通じて、英語学では出会う機会の少ない言語研究のトピックやアプローチを紹介し、日・独・英の各言語を比較対照をしながら、言語研究の様々な側面を学びます。また、義務教育における英語教育と、大学専門外教育におけるドイツ語初級教育の比較対照も行い、日本における初級外国語教育の在り方を問い直します。

## 三原 智子

【国際文化・  
フランス文学】

19世紀フランス文学を研究対象とし、現在はその中でも特に、ギュスターブ・フローベールの作品を研究しています。主たる研究テーマは、フローベール作品における時間概念の生成です。授業では、フランスにおいて影響力をもつ批評家の作品(日本語)を読み、異なる視点に立つことを学びます。また、フランスの文学作品(英訳)を読み、そこに描かれる法律・教育制度・宗教などについて、日本のものと比較検討します。

## 柴田知薫子

【英語学・音韻論】

子どもが言語を獲得する過程には、言語変異(language variation) や言語変化(language change) との並行性が観察されます。耳から入った言語の音声は電気信号に変換されて脳に伝達されますが、蓄積された音声言語が100%の正確さで出力されることはないため、その微妙な差異が言語変異を生み、言語変化へとつながるからです。英語に限らず、自然言語という大きな宇宙を時空を超えて旅することを目標としています。

## 山田 敏幸

【英語学・統語論】

英語と日本語の非文を主な題材とし、生成文法理論の枠組みで、人間言語を最小の道具立てで原理的に説明できるか理論的・実証的に研究しています。授業では、生成文法理論の基礎概念を理解した上で、技術的詳細を修得できます。修士論文研究では、修得した知識・技能をいかし、主に統語論・意味論の諸問題に対して新たな貢献ができるよう、理論言語学、実験言語学の立場から指導します。最終的に、英語教育のヒントが得られるはずです。

## 宮本 文

【アメリカ文学】

主に20世紀以降のアメリカ文学を研究しています。授業では、文学作品やその批評の精読を通してアカデミックな思考方法を学んだり、より多様なテキストの読みに触れることによって人間への理解を深めることを目標としています。